



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 株式会社 サンエー化研

上場取引所 東

コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 明広

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 近江 剛 TEL 03-3241-5702

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,297	3.3	184	18.7	206	25.2	120	30.4
2019年3月期第2四半期	15,824	5.1	226	72.6	276	65.6	173	67.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 255百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 288百万円 (69.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	10.99	
2019年3月期第2四半期	15.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	32,650	19,025	57.8	1,720.47
2019年3月期	33,786	19,380	56.9	1,753.02

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 18,881百万円 2019年3月期 19,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		9.00		9.00	18.00
2020年3月期		9.00			
2020年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,700	1.6	410	25.7	480	18.3	270	45.4	24.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	11,320,000 株	2019年3月期	11,320,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	345,345 株	2019年3月期	345,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	10,974,655 株	2019年3月期2Q	10,974,655 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速等により、景気は先行き不透明な状況が続きました。

一方、わが国経済においては、アジア向けを中心に輸出の低迷が見られるものの、雇用所得環境の改善による個人消費の持ち直しや企業の堅調な設備投資により、景気は横ばいで推移しました。

そのような状況下、当社グループにおきましては、産業資材の受注が回復してまいりましたが、軽包装材料と一部の機能性材料の受注が減少したことにより、売上高は前年同期比で減少しました。損益面においては、受注減少に伴う設備稼働率の低下によって製品の単位原価が上昇し、前年同期比で減益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高152億97百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益1億84百万円（前年同期比18.7%減）、経常利益2億6百万円（前年同期比25.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億20百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

軽包装材料

食品用包材の分野では、前期好調であった電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の新タイプの受注が鈍化しました。また、清涼飲料用パウチも天候不順や競争激化により受注が減少し、その他の食品用包材も低調であったため、減収となりました。

医薬・医療用包材の分野では、高防湿PTP包装用フィルム「テクニフィルム」が伸長し、増収となりました。洗剤・トイレタリー用包材の分野では、詰替え用パウチの受注が減少したものの、化粧品用包材の受注が増加し、増収となりました。

精密機器その他の包材の分野では、エア緩衝材「エアロテクト」が主力ユーザーの使用量削減により受注が減少し、減収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は61億44百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

産業資材

テープ基材等に使用される紙・布へのラミネート製品については、建築・物流関連で使用される粘着テープの需要が停滞するなか、合理化に伴う価格対応と顧客である国内テープメーカーの拡販等により受注が増加し、増収となりました。

剥離紙については、自動車部品関連や一般用途の受注が堅調に推移したことに加え、FPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙もスマートフォン市場の復調により受注が回復し、増収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億73百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

機能性材料

粘着塗工タイプの表面保護フィルム「サニテクト」については、PET基材の「NSタイプ」が一部ユーザーの仕様変更への対応で販売量が減少した他、PO基材の従来タイプが2層押出しタイプ（強粘着品）への置換えによる受注減少等を受け、減収となりました。

2層押出しタイプの表面保護フィルム「PAC」については、偏光板用やスマートフォン関連の受注が増加し、増収となりました。

精密塗工タイプの表面保護フィルム「SAT」については、液晶テレビ関連の受注が堅調であったことに加え、スマートフォン関連の受注も回復し、増収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は52億99百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は以下のとおりです。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	6,144百万円	40.2%	8.0%減
産業資材	3,573百万円	23.4%	7.2%増
機能性材料	5,299百万円	34.6%	2.9%減
その他	280百万円	1.8%	21.0%減
合計	15,297百万円	100.0%	3.3%減

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末と比べて11億35百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が7億83百万円減少したことや、投資有価証券が5億1百万円減少したためであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末と比べて7億80百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が4億30百万円減少したことや、短期借入金が2億円減少したためであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて3億55百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が3億64百万円減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案した結果、2019年5月15日に発表した通期の連結業績予想を変更いたしました。詳細につきましては、本日（2019年11月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,380,972	5,591,165
受取手形及び売掛金	9,273,295	8,489,428
電子記録債権	1,700,937	1,771,050
商品及び製品	1,319,622	1,413,515
仕掛品	1,390,453	1,363,344
原材料及び貯蔵品	628,421	672,381
その他	366,707	353,731
貸倒引当金	△31,826	△27,069
流動資産合計	20,028,585	19,627,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,695,795	3,596,532
機械装置及び運搬具(純額)	1,653,867	1,578,253
土地	1,948,200	1,947,520
その他(純額)	231,046	262,742
有形固定資産合計	7,528,910	7,385,049
無形固定資産		
	32,102	28,347
投資その他の資産		
投資有価証券	4,676,077	4,174,285
関係会社出資金	519,441	442,508
退職給付に係る資産	880,032	894,956
その他	121,102	98,077
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	6,196,653	5,609,828
固定資産合計	13,757,666	13,023,226
資産合計	33,786,252	32,650,773

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,059,557	3,629,398
電子記録債務	2,839,184	2,674,822
短期借入金	3,280,000	3,080,000
未払法人税等	55,338	81,531
賞与引当金	441,840	431,920
役員賞与引当金	7,751	7,551
その他	1,376,419	1,550,968
流動負債合計	12,060,090	11,456,192
固定負債		
長期借入金	715,625	668,125
役員退職慰労引当金	115,245	110,726
退職給付に係る負債	538,464	552,425
資産除去債務	104,810	105,130
その他	871,270	732,650
固定負債合計	2,345,415	2,169,058
負債合計	14,405,505	13,625,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,136,756	2,136,756
利益剰余金	13,322,839	13,344,722
自己株式	△116,042	△116,042
株主資本合計	17,519,554	17,541,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,785,709	1,421,472
為替換算調整勘定	△29,420	△46,299
退職給付に係る調整累計額	△36,986	△34,956
その他の包括利益累計額合計	1,719,302	1,340,216
非支配株主持分	141,889	143,869
純資産合計	19,380,746	19,025,522
負債純資産合計	33,786,252	32,650,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	15,824,639	15,297,620
売上原価	14,044,075	13,592,098
売上総利益	1,780,564	1,705,522
販売費及び一般管理費	1,554,258	1,521,451
営業利益	226,305	184,071
営業外収益		
受取利息	2,704	6,634
受取配当金	62,014	70,064
作業くず売却益	27,484	26,536
クレーム収入	12,928	19,583
為替差益	59,403	—
その他	17,171	13,648
営業外収益合計	181,706	136,467
営業外費用		
支払利息	12,974	11,661
持分法による投資損失	115,978	63,834
為替差損	—	30,175
その他	2,946	8,387
営業外費用合計	131,899	114,059
経常利益	276,112	206,478
税金等調整前四半期純利益	276,112	206,478
法人税、住民税及び事業税	96,097	64,240
法人税等調整額	21,027	18,623
法人税等合計	117,124	82,863
四半期純利益	158,987	123,615
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,489	2,960
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,477	120,654

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	158,987	123,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134,219	△364,278
為替換算調整勘定	△5,278	△3,780
退職給付に係る調整額	8,852	2,029
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,351	△13,097
その他の包括利益合計	129,443	△379,127
四半期包括利益	288,431	△255,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,016	△258,431
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,585	2,919

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	276,112	206,478
減価償却費	499,783	425,774
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,778	20,134
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12,007	△4,518
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△145	△4,757
受取利息及び受取配当金	△64,719	△76,698
支払利息	12,974	11,661
持分法による投資損益 (△は益)	115,978	63,834
売上債権の増減額 (△は増加)	391,737	769,135
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,675	△110,742
仕入債務の増減額 (△は減少)	26,093	△586,809
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△184,240	△2,719
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△31,258	△18,171
その他	49,918	72,580
小計	1,086,332	765,181
利息及び配当金の受取額	62,621	76,199
利息の支払額	△13,309	△11,297
環境対策費の支払額	△5,662	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△239,507	△68,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	890,475	761,336
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△434,405	△213,051
投資有価証券の取得による支出	△17,619	△22,535
関係会社出資金の払込による支出	△445,420	—
貸付けによる支出	△267,448	△260,800
貸付金の回収による収入	1,405	259,974
その他	△27,041	△15,399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,190,529	△251,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	53,332	△200,000
長期借入れによる収入	—	340,000
長期借入金の返済による支出	△292,500	△327,500
配当金の支払額	△98,594	△98,502
非支配株主への配当金の支払額	△360	△940
リース債務の返済による支出	△12,930	△13,936
財務活動によるキャッシュ・フロー	△351,052	△300,878
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,599	△13,585
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△631,507	195,059
現金及び現金同等物の期首残高	5,488,244	5,199,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,856,736	5,394,927

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	6,680,438	3,332,989	5,455,700	15,469,128	355,511	15,824,639
セグメント利益又は損失 (△)	300,175	△462,239	376,691	214,627	11,678	226,305

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	6,144,502	3,573,096	5,299,231	15,016,831	280,789	15,297,620
セグメント利益又は損失 (△)	189,832	△282,440	283,965	191,357	△7,286	184,071

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。